

まごころだより

2022年 1月号

社会・経済・自然界に大きな動きがあった年になった2022年。影響が強かった事はやはりコロナ感染拡大であったろうと思う。男女、老若男女問わず襲い掛かってきて、最悪は命さえも奪ってしまうほどのウイルスは、経済までも止めてしまう力をもって全世界を巻き込んでその猛威を広げていった。今までこれほどの影響を与えたウイルスがあったのでしょうか。確たる治療法も無く、その症状が治まるを待つしかない。このウイルスは何を目的にしているのでしょうか。いまだに防ぎきる方法がないのはとても苛立ちを覚えます。



“法要”

他の施設では見掛けられない様子ですが、まごころは元々“寺”ですので普通にお勤めを執り行っています。利用者は寺だということを分かっているようで、神妙なおもむきで参加してもらっています。

“あやとり”

子供と簡単なあやとりして遊んでいます。教えてやると色々な形になるのでとても喜んでいます。幼い頃はよく遊んだものです。



“誕生会”

「この前も誕生会をしたんじゃない」「あれは他の人の誕生会だったのよ」「そうなの、沢山そんな日があるのね」なんだか可愛らしい会話ですね。

“お絵かき”

絵を書いていると、子供が興味津々で覗いています。そんな子供におばあちゃんが話かけたりして、ほんわかするような情景です。こんなことは随分昔にあったことなのでしょうが、今では孫もすっかり大きくなって、会う事すら少なくなりました。

よその子どもでも、近くに寄って来てくれるととても嬉しいのです。こんな時は本来の優しい顔になって、私達にも優しく返事をしてくれます。

“カード遊び”

この遊びが子供にとって一番楽しい遊びなのです。それは大人と対等に遊べるからなのでしょうが、早くから遊ぼうと催促します。利用者も子供相手とおもっているのですが、ゲームが進むにつれ、段々と本気になってきます。上手く合わなかったりすると、とても悔しそうです。そんな風に大人が真剣に取り組んでいる様子は、子供にとっては一緒に遊んでいるのだと言う満足感があるのかもしれない。

